

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市体育館（カメイアリーナ仙台）
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 29年度 483,633人（前年度比107.5%） 28年度 449,964人
		《スポーツ事業参加者》 29年度 42,631人（前年度比118.1%） 28年度 36,102人
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 229,714千円（234,366千円） ・ その他市が負担した費用 2,213千円（2,714千円） 《収入》 ・ 使用料収入 92,643千円（94,365千円） ・ その他収入 8,855千円（9,066千円） ()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 平成29年11月15日から平成29年12月6日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。 また、市民スポーツ活動の推進についての取り組みがなされている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が図られている。	S
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。 また、利用者に対するごみ分別の呼びかけや職員による資源の再利用等、新・仙台市環境行動計画に基づく取り組みが積極的に行われている。	S
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、全体として気持ちのよい利用者目線の対応を心掛けており、平成29年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 利用者からの要望や苦情への対応も、積極的かつ迅速に行われ、職員全体でサービス向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等、多世代向けの多種多様な自主事業を積極的に提供し、安定した利用者数の確保するとともに、事業計画時の目標数を上回るなど市民のスポーツ振興に寄与している。 また、プールの運営についても利用者の安全性が確保されている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
<p>地域におけるスポーツの普及・振興の拠点として、地域に根ざした施設の運営を行い、地域の活性化に貢献することに留意し、太白区マイタウンスポーツ協会への参画、地域の子供会等へ職員が出向きスポーツ指導する「おでかけプログラム」、小学生・中学生の職場体験受け入れ等を積極的に行いました。</p> <p>また、仙台市の中核施設としての役割も担い、全国大会や世界大会の開催にも十分に対応出来たと考えます。特に、長期間にわたり2種目連続で行われた「平成29年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」は、弓道・剣道を通じた高校生の熱い戦いの舞台として、この体育館の歴史に刻まれ、皆様の記憶に残るような良い大会であったと思います。当館職員も微力ながら大会のスムーズな運営に貢献できました。</p> <p>その他には「FIVBワールドグランプリ(バレーボール)」、「Bリーグ 仙台89ERS ホームゲーム」にも、多くの方々に足を運んでいただき、2月にはパブリックビューイング会場として、平昌オリンピックフィギュアスケートの羽生選手の2連覇達成の瞬間を多くの皆様が共有し感動を分かち合っていました。そのような場を提供できたこと、立ち会えたことに喜びを感じました。</p> <p>施設利用者増加のための取り組みとして、提案・承認された供用時間の延長等を今年度も実施しました。温水プール、トレーニング室、軽運動場の供用時間の延長。また、トレーニング講習会の効率化を図り、受付時にトレーニング経験を聞き取り、経験者と未経験者の定員枠を分けることにより、講習会1回あたりの定員数を増やすなど、利用し易い環境作りを推進できたと思います。</p> <p>施設の維持保全に関しては、法令等の改正により点検が必要となった「フロン排出抑制法に基づく冷凍空調機定期点検」、「非常用発電機負荷点検業務」を遺漏無く実施しました。</p> <p>予定されていた大規模改修が延期になったことから、専門業者のアドバイスを仰ぎながら、老朽化の影響が顕著で予断を許さない状況下にある真空ヒーター熱交換器等の機械設備を中心に、体育館フロア、トレーニング室・軽運動場に設置してある機器、各諸室等利用者のサービスに直結する個所の修繕を行いました。迅速な対応を心がけ、臨時休館等でお客様に迷惑をお掛けすることなく、営業することが出来ました。</p> <p>新たな取り組みとしては、「富沢マルシェ」と「ファミリースポーツデー」の同時開催を実現しました。地元の商店で構成される「三栄会」が、当館隣設の富沢公園で開催しているイベントの「富沢マルシェ」と同じ日に、当館の年1回のファミリー向けイベント「ファミリースポーツデー」を開催しました。富沢マルシェとファミリースポーツデーの参加者に、双方のイベントに足を運んでいただけるよう案内し、相乗効果による参加者増もあり、当館の存在を知っていただく絶好の機会となりました。</p> <p>今回のイベントを通じて三栄会との信頼関係を構築できたことは、今後の地域連携や活性化を進めるうえで非常に有効なものと考えます。今後も地域のスポーツ団体はじめ地元商店会等との協働により、地域の活性化とスポーツの普及振興に貢献してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の管理面については、仙台市を代表する施設として、サークル等の市内スポーツ行事から、在仙プロスポーツ団体におけるホームアリーナとしての使用、全国的・国際的なスポーツ大会やスポーツ以外でも大規模イベントが数多く開催される施設であり、多くの利用者や観客、その他不特定多数の来館者に対応するため、各職員の統一意識により安心・安全に重きを置いた安定的な施設管理が行われている。</p> <p>また、老朽化が進む施設の維持管理のため、蓄積された修繕履歴を効率的かつ効果的に活用し、日常的に適切な処置が行われている。</p> <p>運営面については、継続して実施している地域への指導者派遣や地域スポーツ指導者講習会等、地域に根差した活動を行い太白区の拠点施設としての役割を果たしている。また、利用者のニーズに合わせた機器や備品の更新、多世代向けの多種多様な事業を行う等、利用者の目線に立った施設運営がなされており、利用者数が増加している。</p> <p>今年度は新たに、地元店舗が主催する富沢マルシェとファミリースポーツデーを同時開催する等、地域連携や活性化のための取り組みもなされている。</p> <p>今後とも太白区の拠点施設として、また仙台市を代表する施設として、引き続き安定した管理運営と事業提供をお願いしたい。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課